

平成22年4月期 第1四半期決算短信

平成21年9月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社伊藤園

コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本庄 大介

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長

(氏名) 水野 俊作

TEL 03-5371-7205

四半期報告書提出予定日 平成21年9月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第1四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第1四半期	89,708	△0.1	4,064	83.8	3,886	63.2	1,953	81.5
21年4月期第1四半期	89,797	—	2,211	—	2,380	—	1,076	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第1四半期	15.70	15.66
21年4月期第1四半期	8.65	8.63

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第1四半期	177,431	99,508	56.0	798.36
21年4月期	160,803	99,989	62.1	800.94

(参考) 自己資本 22年4月期第1四半期 99,333百万円 21年4月期 99,828百万円

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	19.00	—	19.00	38.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記の配当の状況は普通株式に係る配当であり、第1種優先株式に係る配当の状況については3ページをご覧ください。

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	181,700	0.1	8,500	19.3	8,100	13.9	3,800	19.1	29.13
通期	335,500	0.8	12,000	13.1	11,000	6.0	5,200	9.1	38.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年4月期第1四半期 91,212,380株 21年4月期 91,212,380株

② 期末自己株式数 22年4月期第1四半期 2,015,194株 21年4月期 2,019,425株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年4月期第1四半期 89,197,019株 21年4月期第1四半期 89,191,083株

(注)上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については3ページをご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予測数値とは異なる結果となる可能性があります。業績予測の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年4月期	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00
22年4月期	—				
22年4月期(予想)		24 00	—	24 00	48 00

(2) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年4月期第1四半期	15	70	15	66
21年4月期第1四半期	8	65	8	63

	1株当たり純資産	
	円	銭
22年4月期第1四半期	798	36
21年4月期	805	94

(3) 連結業績予想における第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり当期純利益	
	円	銭
第2四半期 連結累計期間	34	13
通期	48	96

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
22年4月期第1四半期 35,246,962株 21年4月期 35,246,962株
- ② 期末自己株式数
22年4月期第1四半期 22,192株 21年4月期 21,222株
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
22年4月期第1四半期 35,225,221株 21年4月期第1四半期 35,229,217株

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益において一部の企業で持ち直しの動きが見られるものの、本格的な回復基調までは及ばず、中小企業を中心に引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、依然として続いている消費低迷に、長梅雨による日照不足や大雨・低温なども加わり、非常に厳しい環境のなか、売上の停滞が続いております。

このような状況のなか、当社は経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社を取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でも何を不満に思っているか」を常に考え、全社一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

売上に関しましては、日本茶飲料において「お〜いお茶 焼きたての香り ほうじ茶」と「お〜いお茶 焼きたての香り 玄米茶」が好調に推移したほか、コーヒー飲料及び炭酸飲料が販売を伸ばしましたが、果実飲料や紅茶飲料が前年同期を下回りました。

その結果、売上高の総額は897億8百万円（前年同期比0.1%減）と前年同期並みに推移し、利益面におきましては、各種経費の見直しを行うとともに効率的な経営を行い、営業利益40億64百万円（前年同期比83.8%増）、経常利益38億86百万円（前年同期比63.2%増）、四半期純利益19億53百万円（前年同期比81.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,774億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して166億27百万円増加いたしました。総資産の主な変動要因は、「受取手形及び売掛金」が65億76百万円、棚卸資産が82億30百万円、有形固定資産の「リース資産」が22億78百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は779億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して171億7百万円増加いたしました。負債の主な変動要因は、「買掛金」が77億39百万円、「未払費用」が16億91百万円、「借入金」が40億円、「リース債務」が24億78百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は995億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億80百万円減少いたしました。純資産の主な変動要因は、四半期純利益により19億53百万円増加し、剰余金の配当により25億92百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.1%から56.0%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、27億98百万円の支出となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益38億72百万円、減価償却費14億51百万円、仕入債務の増加77億56百万円であるのに対し、減少要因として売上債権の増加65億97百万円、たな卸資産の増加82億59百万円、法人税等の支払額13億4百万円であったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、24億11百万円の支出となりました。これは主に設備投資、システム投資等による支出15億82百万円に加えて、タリーズコーヒージャパン(株)の株式追加取得による支出9億2百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億55百万円の収入となりました。これは主にタリーズコーヒージャパン(株)の短期及び長期借入れによる収入40億円に対し、ファイナンス・リース債務の返済7億70百万円、配当金の支払18億16百万円それぞれ支出があったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して38億66百万円減少し、101億21百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、在庫調整の一巡や経済対策の効果等により持ち直しが期待されるものの、生産活動が低い水準であることなどから、雇用情勢の悪化や、所得の伸び悩みなど、依然として予断を許さない状況であり、世界景気の下振れ懸念など先行き不透明感が高いまま推移するものと思われる。また、飲料業界におきましても、業界再編が急速に進むなか、一層の競争激化が予想されます。

当社グループといたしましては、「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」の製品開発コンセプトを基本に、厳格な品質管理のもと、積極的に新製品の開発を行うとともに、費用対効果を検証しつつ効果的にマーケティング費用を投下し、飲料市場におけるシェア向上を図ってまいります。

なお、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績に関しましては、今回見直しをせず据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末におけるたな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,121	14,334
受取手形及び売掛金	35,194	28,617
商品及び製品	21,951	15,515
原材料及び貯蔵品	10,678	8,884
その他	13,104	11,395
貸倒引当金	△130	△123
流動資産合計	90,920	78,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,374	15,592
土地	14,053	14,061
リース資産(純額)	14,817	12,539
その他(純額)	4,236	4,033
有形固定資産合計	48,482	46,226
無形固定資産		
のれん	14,702	14,065
リース資産	161	166
その他	10,226	9,071
無形固定資産合計	25,089	23,303
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	12,938	12,649
固定資産合計	86,510	82,178
資産合計	177,431	160,803
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,661	22,921
短期借入金	1,420	—
リース債務	3,392	2,796
未払費用	14,073	12,382
未払法人税等	1,905	1,354
賞与引当金	1,598	2,565
その他	3,149	1,732
流動負債合計	56,201	43,750
固定負債		
長期借入金	2,580	—
リース債務	12,714	10,832
退職給付引当金	3,838	3,679
その他	2,588	2,551
固定負債合計	21,721	17,064
負債合計	77,922	60,814

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	71,493	72,141
自己株式	△4,867	△4,876
株主資本合計	106,797	107,435
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	451	270
繰延ヘッジ損益	△20	△23
土地再評価差額金	△6,196	△6,196
為替換算調整勘定	△1,698	△1,658
評価・換算差額等合計	△7,463	△7,607
新株予約権	13	14
少数株主持分	161	146
純資産合計	99,508	99,989
負債純資産合計	177,431	160,803

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
売上高	89,797	89,708
売上原価	45,349	45,805
売上総利益	44,447	43,903
販売費及び一般管理費	42,236	39,839
営業利益	2,211	4,064
営業外収益		
受取利息	16	5
受取配当金	28	26
為替差益	79	—
持分法による投資利益	25	—
その他	118	64
営業外収益合計	268	95
営業外費用		
支払利息	29	160
為替差損	—	66
持分法による投資損失	—	1
その他	70	45
営業外費用合計	99	273
経常利益	2,380	3,886
特別利益		
固定資産売却益	—	2
固定資産受贈益	—	2
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産廃棄損	29	12
減損損失	—	0
その他	3	4
特別損失合計	32	18
税金等調整前四半期純利益	2,347	3,872
法人税等	1,224	1,903
少数株主利益	46	14
四半期純利益	1,076	1,953

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,347	3,872
減価償却費	751	1,451
減損損失	—	0
のれん償却額	227	236
為替差損益(△は益)	△9	28
固定資産廃棄損	23	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△944	△966
退職給付引当金の増減額(△は減少)	141	158
受取利息及び受取配当金	△45	△31
支払利息	29	160
持分法による投資損益(△は益)	△25	1
売上債権の増減額(△は増加)	△6,027	△6,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,786	△8,259
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,195	△1,877
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△137	△56
仕入債務の増減額(△は減少)	5,970	7,756
未払消費税等の増減額(△は減少)	△80	681
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,335	2,018
その他	341	42
小計	△7,057	△1,367
利息及び配当金の受取額	48	34
利息の支払額	△29	△160
法人税等の支払額	△3,108	△1,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,146	△2,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,898	△1,582
長期前払費用の取得による支出	△120	△66
有形及び無形固定資産の売却による収入	3	33
関係会社株式の取得による支出	△540	△902
その他	△8	106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,564	△2,411

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,200
長期借入れによる収入	—	2,800
自己株式の取得による支出	△4	△1
自己株式の処分による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△136	△770
配当金の支払額	△1,814	△1,816
少数株主への配当金の支払額	—	△52
その他の支出	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,954	1,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,649	△3,866
現金及び現金同等物の期首残高	22,549	13,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,899	10,121

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,333	77,700	4,762	89,797	—	89,797
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,333	77,700	4,762	89,797	—	89,797
営業利益	914	9,006	91	10,012	(7,801)	2,211

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,433	77,475	4,799	89,708	-	89,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,433	77,475	4,799	89,708	-	89,708
営業利益	1,025	8,925	232	10,184	(6,120)	4,064

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、茶葉(リーフ)関連、飲料(ドリンク)関連、その他に区分しております。

2 各事業の主な製品及び商品

(1) 茶葉(リーフ)関連事業……緑茶・ウーロン茶等の茶葉(リーフ)製品

(2) 飲料(ドリンク)関連事業……日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料(ドリンク)製品

(3) その他の事業……上記以外の製品及び仕入商品、食材等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。